

令和5年3月10日

四国地方整備局

令和4年度 インフラDX大賞 四国地方整備局長表彰を発表！

～建設現場で革新的な取り組みを行った企業を表彰します～

四国地方整備局では、魅力ある建設現場を目指し、革新的技術の活用等により建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」を含めたインフラ分野のDXを推進しています。

この度、四国地域において優れた取り組みを行った企業を、「インフラDX大賞 四国地方整備局長表彰」の受賞者として決定しましたので、「令和4年度 インフラDX大賞 四国地方整備局長表彰」の授与式を以下のとおり開催いたします。

<令和4年度受賞者>

- ・令和2～3年度 外環空港線洗地川橋（上り）上部工事：川田工業（株）
- ・令和2～3年度 南国安芸道路赤野橋下部外工事：入交建設（株）

<表彰式>**1. 表彰式日時**

令和4年3月22日（水） 13：00～（45分程度）

2. 開催方法

対面方式&一部WEB会議によるオンライン開催

※「インフラDX大賞 四国地方整備局長表彰」とは

建設現場の生産性向上「i-Construction」を含めたインフラ分野のDXに係る優れた取り組みを表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、インフラ分野のDXに係る取り組みを推進することを目的に、

四国地方整備局にて令和3年度に「i-Construction大賞」として創設され、令和4年度に「インフラDX大賞」へ名称変更したものです。

※授与式は、対面方式を予定しております。

取材を希望される場合は、3月16日（木）17：00までに

登録票（別紙）に必要事項をご記入の上、電子メールでお申し込みください。

（問い合わせ先）

四国地方整備局 企画部

建設情報・施工高度化技術調整官 濱田 向啓（内線3132）

TEL：087-811-8311（技術管理課直通）

FAX：087-811-8412（技術管理課直通）

インフラDX大賞 四国地方整備局長表彰 授与式 登録票

取材を希望される方は、こちらの登録票に必要事項をご記入の上、期限までに電子メールにて送付願います。

（送付状は不要です。このまま送付してください。）

なお、会議終了後、取材対応を行います。

期 限：令和5年3月16日（木） 17：00まで

送付先：hamada-h8813_atmark_mlit.go.jp

※送付の際は、「_atmark_」を「@」に置き換えてください。

上記について了承の上、申し込みます。

氏名（ふりがな）：

会社名等：

連絡先（電話番号）：

送付先（メールアドレス）：

令和2-3年度 外環空港線洗地川橋(上り)上部工事



SHIKOKU
INFRA
DIGITAL
TRANSFORMATION



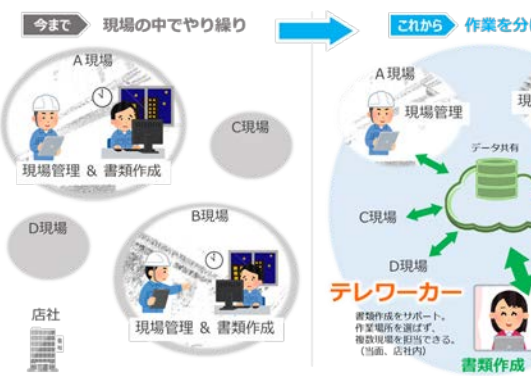
国土交通省
四国地方整備局

発注者	四国地方整備局 松山河川国道事務所
業者名	川田工業(株)
工期	2020年09月04日～2021年09月30日
施工場所	愛媛県松山市東垣生地先、 愛媛県松山市南吉田町地先
請負金額	389,290,000円

【工事概要】

■ 本工事は、愛媛県松山市東垣生の松山外環状道路空港線の鋼橋上部工事（鋼3径間連続非合成鈹桁橋の製作及び架設）である。

■ 建設現場における生産性向上を図るためICTを活用し、
①「ワンマン測量システム」 ②ワンマン測量システムデータのクラウド上での「現場と店社の共有」 ③作業の一部を店社のテレワーカーが実施する「店社テレワークサポート」を実施。



	現場職員 @事務所	現場職員 @施工現場	テレワーカー @店社
前準備 (フォーマット作成)	0分	→	90分 テレワーカーが実施
計測作業 (1人)	-	203分	-
後処理 (帳票作成)	0分	→	80分 テレワーカーが実施
		203分(3時間23分)	170分



現場と店社の業務分担

- 【推薦理由】**
- 「ワンマン測量システム」及び「クラウド利用による現場とのデータ共有」「店社のテレワークサポート」を導入することにより、現場作業に専念できる時間を創出し、分担することにより新たな業務、仕事の実施体制が確立できた。
 - 現場職員の労働時間を現場対応の段取りや品質管理業務といった「現場でしかできない仕事」に集中させ、データ整理や書類作成業務を店社テレワーカーと分担することで、工程余裕の創出や施工品質の向上を実現し、ICT（クラウド）を利用した建設現場の新しい働き方として他の模範、新たな働き方を提案した。
 - 「ワンマン測量システム」・・・【従来】12時間22分→【新技術活用】3時間23分 **約73%削減！**
「店社テレワークサポート」・・・その他、現場職員が実施していた品質管理・写真管理を分担。（約29時間）
テレワーカーが作業を分担することで、現場職員の時間外労働時間を削減。

発注者	四国地方整備局土佐国道事務所
業者名	入交建設（株）
工期	2021年03月31日～2022年03月31日
施工場所	高知県安芸郡芸西村和食甲地先、 高知県安芸市赤野乙
請負金額	389,950,000円

【工事概要】
本工事は、国道55号南国安芸道路（芸西西～安芸西）で橋梁下部、函渠工、集水枡を含む小規模構造物の施工をする工事であり、本工事で施工する集水枡（幅900mm、長さ1,000mm、高さ850mm）に関して、公共工事では国内で初めてとなる「3Dプリンタ」を活用した目的構造物製作をしたものであり、工期の短縮や省人化に効果があることを確認できた。

【推薦理由】

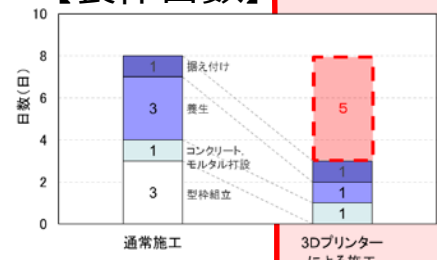
- 将来の担い手不足の解消や働き方改革に資する様々なICTなど、新技術の積極的な導入を目指している中で、本取り組みは、公共工事では国内で初めてとなる「3Dプリンタ」を活用した目的構造物製作を行い、「3Dプリンタ」の持つ可能性を広く世に知らしめた先進的な取り組みである。
- 従来工法と比較した結果、集水枡1基あたりの製作に関して、現場での据え付けでは従来工法と同等であるが、製作に必要な型枠の組立・解体が不要となった。

【効果①】製作日数：【従来工法】8日 ⇒ 【3Dプリンタ活用】3日 **5日の短縮！**

【効果②】省人化：【従来工法】延べ9人 ⇒ 【3Dプリンタ活用】延べ4人 **延べ5人の省人化！**

【比較】

【製作日数】



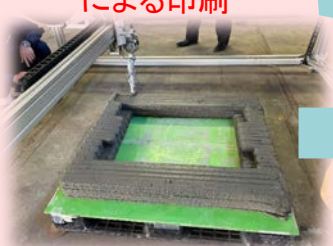
通常施工
3Dプリンターによる施工

3Dプリンターによる施工

①3次元ソフトウェア ②原材料の投入
による設計



③3Dプリンターによる印刷



④集水枡の完成



通常施工
型枠組立が必要



不要